

がんばろう日本

～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～

August 2016

広報No.640

キラリ 亀岡

編集発行:亀岡市市長公室秘書広報課/〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地/☎0771-22-3131(代) ☎0771-24-5501

ホームページ <http://www.city.kameoka.kyoto.jp> 携帯版ホームページ <http://www.city.kameoka.kyoto.jp/m/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/kameokacity> 電子メール office@city.kameoka.kyoto.jp

■亀岡市の人口と世帯数

	平成28年 7月27日現在	平成27年 7月21日現在
人口	90,537人	91,131人
内 男	44,128人	44,411人
女	46,409人	46,720人
世帯数	38,443世帯	38,234世帯

主な内容

- 1ページ 折り鶴に込められた平和への願い
- 2ページ 地域を支える新たな取り組み
- 3ページ 京都サンガF.C.の染谷選手が亀岡を訪問!
- 4ページ 遊・Youかめおか ～8月のイベント情報～ など



ガレリアかめおかデイサービスセンター利用者の皆さん



平和台公園平和塔



ちとせさわやか健康センター利用者の皆さん



『原爆の子の像』に奉納された、亀岡市から送られた千羽鶴(平成27年11月、広島市から提供)

折り鶴に込められた平和への願い

戦後70年が過ぎた現在でも、世界各地で紛争やテロが絶えず、人類は核兵器の脅威にさらされています。私たちは、いま一度、平和であることに感謝し、争いのない社会を築き上げるために努めなければなりません。今回は、「世界連邦・非核平和都市」を宣言する亀岡市でのさまざまな取り組みの中で、市民の皆さんが、折り鶴に核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現への願いを込め、思いを発信する姿をお伝えします。



ちとせさわやか健康センター利用者の皆さん



ガレリアかめおかデイサービスセンター利用者の皆さん

戦後50年を迎えた平成7年、市内の小・中学校や自治会など325羽も加え、同館で職場体験をしていた大成中学校、亀岡中学校、園部高等学校付属中学校(南丹市)の生徒たちによって補修され、広島市に送りました。同年11月、広島市から、この折り鶴が「原爆の子の像」に捧げられた、との知らせが写真添えて届きました。

7月20日、「ガレリアかめおかデイサービスセンター」利用者の皆さんと職員の手による2,000羽、「ちとせさわやか健康センター」利用者の皆さんから3,000羽の千羽鶴が、桂川市長に手渡

核兵器廃絶への思い 広島から世界へ
今年5月27日、アメリカ合衆国のバラク・オバマ大統領は、核兵器保有国の現職国家元首として初めて、広島市の平和記念公園と広島平和記念資料館を訪れました。オバマ大統領は、自らの手による折り鶴4羽のうち2羽を出迎えた小・中学生に手渡しました。

そして、被爆された佐々木禎子さんが闘病生活の中で願いを込めて折られた鶴などの展示を見た後、核兵器廃絶へ向けて記したメッセージに、残る2羽を添えました。

以後、20年にわたり市文化資料館で展示、保管されていましたが、平成27年、戦後70年を迎え、この折り鶴に込められた市民の皆さんの平和への思いを広げ、継承していくための方策が検討されました。その結果、同年7月から8月にかけて開催された市文化資料館第59回企画展「戦後70年、あとのきの亀岡」においても一度展示し、平和記念公園の「原爆の子の像」に捧げることになりました。そして、当展示の来館者による新たな325羽も加え、同館で職場体験をしていた大成中学校、亀岡中学校、園部高等学校付属中学校(南丹市)の生徒たちによって補修され、広島市に送りました。

このように、市民の皆さんが平和を願う思いは、過ちを二度と繰り返さないとの決意とともにあるのです。

平和について 考える機会を
亀岡市では、毎年8月を「平和月間」とし、平和の尊さをあらためて考えるさまざまな取り組みを展開しています。その一つとして、「平和学習講演会」や「ヒロシマ」に学ぶ親子平和の旅を振り返る「を」を、8月21日午後1時から、市役所1階市民ホールで開催します。広島市から招いた語り部による被爆体験講演、パネル展示などを通じ、核兵器の恐ろしさや平和な社会の構築について考えます。

亀岡市は今後も、世界恒久平和と核兵器廃絶の実現のための取り組みを市民の皆さんとともに推進し、世界に発信し続けます。

